

memo

徳島大学大学院市民公開講座

令和5年度中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

がん治療のチーム医療

～徳島大学における最新の取り組み～

日時

令和6年 **3/20** [水・祝]
13:00～15:30 (開場12:00)

会場

徳島大学長井記念ホール
徳島大学蔵本キャンパス内
徳島市庄町1-78-1

プログラム

開会挨拶

徳島大学大学院 医歯薬学研究部消化器内科学 教授 高山 哲治氏

第一部

講演1 「がん遺伝子パネル検査と薬物療法 ～内科医の立場から～」

13:05～13:25 徳島大学大学院 医歯薬学研究部消化器内科学分野 助教 三井 康裕氏

講演2 「がんの周術期治療におけるチーム医療 ～外科医の立場から～」

13:25～13:45 徳島大学病院 食道・乳腺甲状腺外科 講師 井上 聖也氏

講演3 「免疫チェックポイント阻害薬の副作用について
～薬剤師の立場から～」

13:45～14:05 徳島大学病院 薬剤部 がん専門薬剤師 柴田 高洋氏

14:05～14:25 休憩 (ピアノ・ベース・トランペットの音楽演奏会)

第二部

講演4 「自分らしく生きるために今、“もしも”を考える
～看護師の立場から～」

14:25～14:45 徳島大学大学院 保健科学研究科 緩和ケア認定看護師 明石 和子氏

講演5 「運動で楽しくがんケアの基盤：予防から回復までの全方位アプローチ
～理学療法士の立場から～」

14:45～15:05 徳島大学病院 リハビリテーション部 理学療法士 近藤 心氏

講演6 「チームで関わるがん患者さんの栄養サポート
～栄養士の立場から～」

15:05～15:25 徳島大学病院 栄養部 管理栄養士 筑後 桃子氏

閉会挨拶

徳島大学大学院 医歯薬学研究部胸部・内分泌・腫瘍外科学 教授 滝沢 宏光氏

主催 徳島大学次世代のがんプロフェッショナル養成プラン事務局、中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

共催 徳島大学病院がん診療連携センター、徳島大学研究クラスター、NPO法人 徳島医学研究・教育支援機構 (SOMRET)、徳島新聞社

座長あいさつ

市民公開講座の開催にあたって



高山 哲治 氏 徳島大学大学院 医歯薬学 研究部 消化器内科学 教授

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアムは、徳島大学を含む中国・四国の11大学からなり、多職種のがん専門の医療人を養成しています。本コンソーシアムでは、がん治療において専門性の高いがん薬物療法専門医や臨床腫瘍外科医、がん専門薬剤師、看護師、医学物理士、管理栄養士などを育成しています。また、これらの多職種が一つのチームを作り、がん患者さんの治療にあたる「質の高いチーム医療」を目指しています。本市民公開講座では、それぞれの職種の立場から徳島大学における最新の取り組みを紹介していただきます。

プロフィール

- 中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム理事
日本臨床腫瘍学会理事
日本消化器病学会理事(H30-R5)
第22回日本臨床腫瘍学会学術集会(神戸2025.3)を開催予定

座長あいさつ

徳島大学のがんチーム医療



滝沢 宏光 氏 徳島大学大学院 医歯薬学 研究部 胸部・内分泌・腫瘍外科学 教授

近年のがん治療においては、様々な専門職種が連携し合って治療や支援を行う「チーム医療」が行われています。内科医、外科医、放射線科医などの医師の連携のみならず、看護師、薬剤師、管理栄養士、ソーシャルワーカー、放射線技師、リハビリ専門職(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)も連携しながら、一人一人の患者さんに合った最良の医療を提供します。徳島大学が実践するがんチーム医療を紹介します。

プロフィール

- 中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアムコーディネーター
日本外科学会代議員
日本呼吸器外科学会評議員
日本呼吸器内視鏡学会理事・評議員

13:05~13:25

講演① がん遺伝子パネル検査と薬物療法 ~内科医の立場から~



三井 康裕 氏 徳島大学大学院 医歯薬学 研究部 消化器内科学 分野 助教

「がん」という病気は様々な遺伝子の異常が背景となって起こるとされています。これまでは臓器毎に診断や治療が開発されてきましたが、がん遺伝子パネル検査を通じて遺伝子異常に基づいた治療法が解明され、薬物療法の選択が広がってきています。しかし、がんゲノム医療を実践するためには、「診断と治療」だけに注目するのではなく、社会的側面や心理的側面など、全人的な視点で対応することが必要となります。がん治療を受けられている方、あるいはそのご家族が少しでも豊かな日々を送っていただけるよう、様々な職種の医療スタッフが1つのチームとして支えている「現在」と「未来」についてご紹介いたします。

プロフィール

- 2009年 徳島大学医学部医学科 卒業
2011年 徳島大学病院消化器内科 医員
2013年 (独)国立病院機構高知病院消化器科 医員
2014年 徳島大学病院消化器内科 医員
2015年 (独)国立がんセンター東病院消化管内科 任意研修医
(独)国立病院機構高知病院消化器科 医師
2016年 徳島大学病院消化器内科 医員
2018年 徳島大学病院内視鏡センター 特任助教
2023年 徳島大学大学院医歯薬学 研究部 消化器内科学 助教

14:25~14:45

講演④ 自分らしく生きるために今、「もしも」を考える ~看護師の立場から~



明石 和子 氏 徳島大学大学院 保健科学研究科 緩和ケア認定看護師

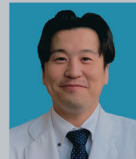
医療の進歩により、がんの生存率は大幅に改善されていますが、いのあるものとしていつか避けられない死がやってくるのは事実です。自分の最期を考えることは、ネガティブなことではなく、むしろ、これからどう生きるかを考えるための貴重な機会です。今から「もしも」を考えることで、その時に直面した際、本当に考えなければいけない事柄に注力できます。皆さんが考えた「もしも」の内容は、ご自身だけの心に秘めるのではなく、大切なご家族や友人、そして、がん治療を専門とする私たち医療者と共有し、一緒に考えましょう。医療現場ではどのように、皆さんの「もしも」の考えが生かされているのかをご紹介させていただきます。

プロフィール

- 2008年 社会医療法人生倉会府中病院 入職
2016年 静岡県立静岡がんセンター認定看護師教育課程 修了
2017年 緩和ケア認定看護師資格 取得
2022年 徳島大学大学院保健科学研究科 博士前期課程 修了

13:25~13:45

講演② がんの周術期治療におけるチーム医療 ~外科医の立場から~



井上 聖也 氏 徳島大学病院 食道・乳腺甲状腺外科 講師

がん治療にとって外科的手術は、根本的を指した治療です。患者さんが安心して質の高い手術を受けられるよう、徳島大学病院では様々な職種が連携したチーム医療に力を入れてきました。食道外科において、2014年から管理栄養士と連携し、抗がん剤治療や手術を受ける前から栄養管理を強化しました。さらに歯科医師、看護師、薬剤師、理学療法士、言語聴覚士と連携することで治療の目標と情報を共有し、周術期管理を行っています。これらの取り組みにより、術後在院日数の短縮や術後合併症が減少しています。われわれが行っているチーム医療の実際について紹介します。

プロフィール

- 2006年3月 川崎医科大学医学部 卒業
2008年4月 徳島県立中央病院外科
2009年4月 徳島大学病院 医員
2010年4月 JA徳島厚生連阿波病院消化外科
2013年4月 徳島市市民病院 医員
2015年4月 徳島大学病院 医員
2017年4月 徳島大学病院 食道・乳腺甲状腺外科 助教
2020年4月 徳島大学病院 感染制御部 特任助教
2021年4月 徳島大学病院 食道・乳腺甲状腺外科 助教
2022年4月 徳島大学病院 食道・乳腺甲状腺外科 講師

14:45~15:05

講演⑤ 運動が薬ががんケアの基盤：予防から回復までの全方位アプローチ ~理学療法士の立場から~



近藤 心 氏 徳島大学病院 リハビリテーション部 理学療法士

がんは私たちの健康を大きく脅かす病ですが、運動にはその予防から治療後の生活の質回復まで幅広い可能性が秘められています。本講演では最新の情報をもとに、運動ががん予防や治療後の回復にどのように貢献するかを分かりやすくご説明します。徳島大学病院での取り組みから、在宅での実践的な運動方法の紹介や日常生活に取り入れるコツまでお伝えします。がんと向き合うすべての方々が健康で活力ある生活を送るヒントを提供したいと思います。

プロフィール

- 1998年 横浜国立大学教育学部 卒業
2007年 徳島医療福祉専門学校理学療法士学科 卒業
徳島大学病院 リハビリテーション部 入職
2020年 神戸大学大学院 保健学研究科 博士前期課程 修了
2023年 神戸大学大学院 保健学研究科 博士後期課程 修了

13:45~14:05

講演③ 免疫チェックポイント阻害薬の副作用について ~薬剤師の立場から~



柴田 高洋 氏 徳島大学病院 薬剤部 がん専門薬剤師

2014年7月に最初の免疫チェックポイント阻害薬としてオプジーボ®が日本で承認されて以降、2024年1月において、計8つの免疫チェックポイント阻害薬が様々ながんに対して使用されています。免疫チェックポイント阻害薬は、これまでの抗がん薬とは全く異なる作用の仕方でも効果を示します。一方、副作用についても特徴的な症状が見られ、総称として免疫関連副作用と呼ばれています。免疫関連副作用とはどのような副作用なのでしょう。免疫チェックポイント阻害薬の作用の仕方と併せて、わかりやすく皆さんにお伝えします。

プロフィール

- 2007年 徳島文理大学薬学部 卒業
2010年 徳島大学病院薬剤部
2016年 徳島大学大学院薬科学教育部 博士後期課程 修了(薬学博士)
2020年 日本医療薬学会認定 がん専門薬剤師

15:05~15:25

講演⑥ チームで関わるがん患者さんの栄養サポート ~栄養士の立場から~



筑後 桃子 氏 徳島大学病院 栄養部 管理栄養士

食事や栄養はわたしたちの健康や生活の基本ですが、がんの治療中にもバランスのとれた食事や栄養をとることは、感染の予防や治療による副作用の軽減にも役立ちます。また、食事から得られる満足感による心身の健康もサポートします。しかし、治療中はさまざまな要因によって食事が低下することがあります。そんな時、食事や栄養のお手伝いをするのが管理栄養士や栄養サポートチーム(Nutrition Support Team: NST)です。今回は徳島大学病院における、がん患者さんに関わる栄養サポートチームの取り組みについてお話しできればと思います。

プロフィール

- 2013年 徳島大学医学部 栄養学 卒業
2015年 徳島大学大学院 栄養生命科学 教育人間栄養科学専攻 博士前期課程 修了
徳島大学大学院 栄養生命科学 教育人間栄養科学専攻 博士後期課程 入学
公立学校共済組合 四国中央病院 入職
2017年 徳島大学病院 栄養部 入職
2018年 徳島大学大学院 栄養生命科学 教育人間栄養科学専攻 博士後期課程 修了